

第83期中間報告書

平成18年4月1日～9月30日

らこんテ



人をむすぶ、街をつなぐ
九州電力

Raconter(ラコンテ)は、フランス語で「語る」「話す」という意味です。

目次

ごあいさつ	1
事業の状況	3
設備の状況	4
中間連結財務諸表	5
中間財務諸表(単体)	8
CLOSE UP九電	
「九電グループはCSRの一環として 環境経営を推進しています」	11
「当社のホームページについて お知らせします」	13
さあ、オール電化の暮らしへ。	14
心の旅 in九州	15
らこんで倶楽部	18
役員・株主メモ・ 会社概要	裏表紙



表紙の絵

伊万里鍋島藩窯公園
(佐賀県伊万里市)

「心の旅 in九州」(P15)から

作者:竹中俊裕氏

ごあいさつ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第83期中間報告書をお手元にお届けするにあたりまして、一言ごあいさつ申し上げます。

当社グループをとりまく経営環境をみますと、昨年4月から電力自由化の範囲が高圧すべてのお客さまに拡大され、電力市場における競争は一段と本格化しております。また、アジアのエネルギー需要の増大や原油価格の上昇など、エネルギーを巡る情勢も不透明性を増しております。

このような状況の中、当社は昨年3月に策定した中期経営方針のもと、総合エネルギー事業を中心としたグループの事業基盤を強固なものとするとともに新たな成長を目指し、現在、グループ一丸となった取り組みを積極的に進めているところです。

具体的には、「お客さまの視点」から、市場競争力のある価格の実現、高い信頼性と迅速な対応、

お客さまニーズに即したソリューションの提供、「信頼と安心」のブランドの確立などに取り組んでおります。

また、「財務の視点」から、収益性と財務安定性の向上を図るとともに、業界トップクラスの効率性の実現、さらには電気事業における新たな需要創出や電気事業以外における売上高増に向けた取り組みを進めております。

なお、本年9月の台風13号により停電が発生し、お客さまには大変ご迷惑をおかけいたしました。今後、自然災害に備えた各種の対策をさらに充実させてまいります。

当社といたしましては、引き続きグループ全体の持続的な企業価値向上を目指してまいりますので、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成18年11月



代表取締役社長 松尾新吾

事業の状況

当上半期のわが国経済は、企業収益の改善を受けた民間設備投資の増加や、雇用情勢の改善などを背景とした個人消費の緩やかな増加などから、景気回復が続きました。

このような経済情勢のもと、当上半期の連結収支につきましては、収入面では、電気事業において、本年4月から電気料金の値下げを実施しましたが、販売電力量の増加などにより増収となりました。連結の売上高(営業収益)は前年同期に比べ3.4%増の7,132億円、中間経常収益は3.5%増の7,173億円となりました。一方、支出面では、電気事業において、原油価格の上昇などに伴う燃料費の増加はありましたが、近年の好調な年金資産運用などによる人件費の減少や、経営効率化による減価償却費の減少などがあり、中間経常費用は1.7%減の6,085億円となりました。

以上により、中間経常利益は47.0%増の1,088億円、中間純利益は57.0%増の667億円となりました。

事業別の業績(内部取引消去前)は、次のとおりとなりました。

a 電気事業

当上半期の販売電力量につきましては、電灯、業務用電力などの一般需要は、6月、9月の気温が前年に比べ低めに推移したことによる冷房需要の減少はあるものの、オール電化住宅の増加などによる電灯の伸びや、商業施設の新規出店などによる業務用電力の伸びなどから、前年同期に比べ2.4%の増加となりました。また、大口産業用需要は、デジタル家電関連や鉄鋼などで生産が堅調に推移したことや、原油価格の高騰を受け、自家発電から当社買電への切替えがあったことなどから、前年同期に比べ6.1%の増加となりました。この結果、当上半期の総販売電力量は、430億6千万kWhとなり、前年同期に比べ

3.4%の増加となりました。

当上半期の業績につきましては、本年4月から電気料金の値下げを実施しましたが、販売電力量の増加などにより、売上高は前年同期に比べ2.3%増の6,673億円となりました。営業利益は、売上高の増加に加え、人件費の減少などにより31.1%増の1,233億円となりました。

b エネルギー関連事業

売上高は、ガス販売量の増加などにより、前年同期に比べ3.1%増の555億円となりました。営業利益は、分散型電源事業において、前年から不採算物件の解約を進めてきたことなどにより10億円増加し11億円となりました。

c 情報通信事業

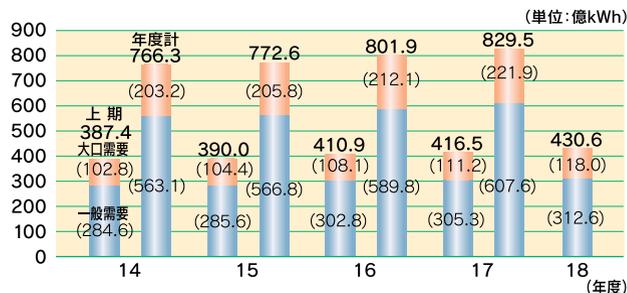
売上高は、ブロードバンドサービスの利用回線数の増加などにより、前年同期に比べ11.6%増の350億円となりました。営業利益は、移動系通信事業者からの業務受託収入の増加などにより17億円改善し、収支が均衡しました。

d その他の事業

売上高は、オール電化マンションの分譲販売などにより、前年同期に比べ30.8%増の127億円、営業利益は71.1%増の21億円となりました。

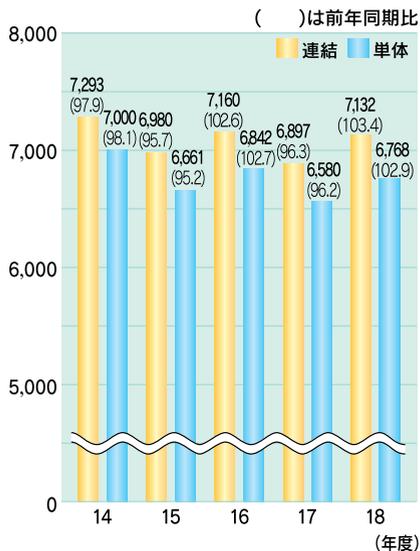
また、当社における中間配当につきましては、1株につき30円とさせていただきます。

■販売電力量の推移

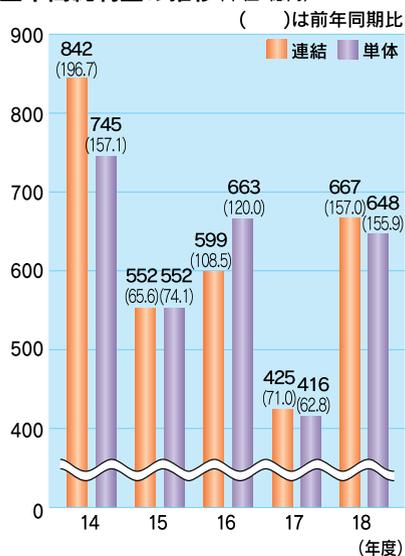


設備の状況

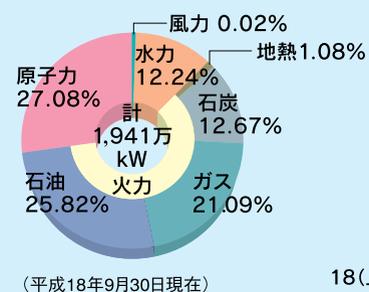
■売上高(営業収益)の推移(中間期)(単位:億円)



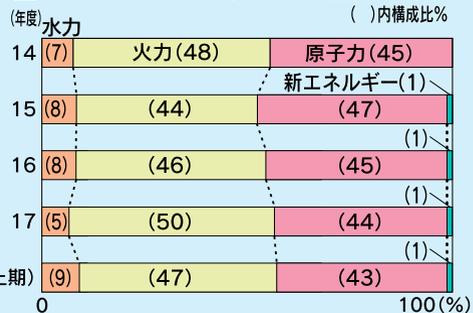
■中間純利益の推移(単位:億円)



■発電設備(出力)の構成

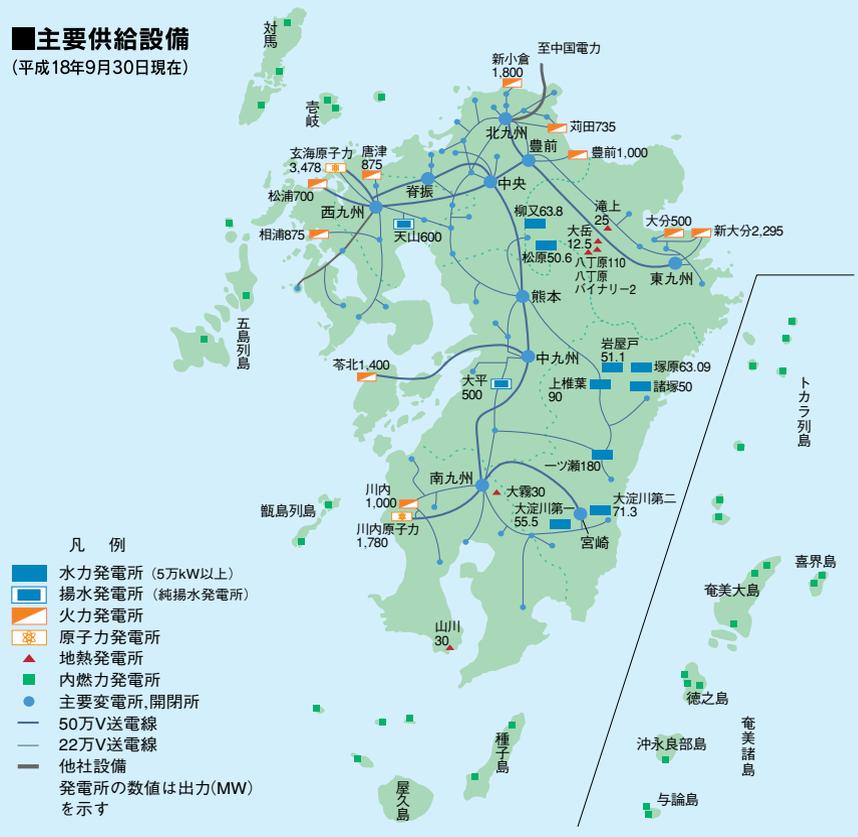


■発電電力量のエネルギー別構成の推移



■主要供給設備

(平成18年9月30日現在)



中間連結財務諸表

■中間連結貸借対照表

(単位:億円)

資 産 の 部		前期末 (平成18年9月30日現在)	前期末 (平成18年3月31日現在)	負 債 及 び 純 資 産 の 部		前期末 (平成18年9月30日現在)	前期末 (平成18年3月31日現在)
科 目	当中間期末 (平成18年9月30日現在)			科 目	当中間期末 (平成18年9月30日現在)		
固 定 資 産	37,895	38,598		固 定 負 債	23,680	24,260	
電 気 事 業 固 定 資 産	25,557	26,147		社 長 期 借 入 金	10,176	10,457	
水 力 発 電 設 備	1,872	1,900		退 職 給 付 引 当 金	6,652	6,784	
汽 力 発 電 設 備	3,395	3,555		使 用 済 燃 料 再 処 理 等 引 当 金	1,894	2,042	
原 子 力 発 電 設 備	2,684	2,843		原 子 力 発 電 設 施 解 体 引 当 金	3,515	3,533	
内 燃 機 設 備	260	250		繰 延 税 金 負 債	1,230	1,196	
送 電 設 備	7,036	7,176		そ の 他 の 固 定 負 債	—	—	
変 電 設 備	2,739	2,778		流 動 負 債	209	245	
配 電 設 備	6,129	6,167		1年以内に期限到来の固定負債	5,833	6,133	
業 務 設 備	1,330	1,365		短 期 借 入 金	2,002	2,002	
そ の 他 の 電 気 事 業 固 定 資 産	108	109		支 払 手 形 及 び 買 掛 金	1,667	1,846	
そ の 他 の 固 定 資 産	2,964	3,003		未 払 税 金	376	462	
固 定 資 産 仮 勘 定	3,236	3,030		関 係 会 社 事 業 整 理 損 失 引 当 金	580	372	
建 設 仮 勘 定 及 び 除 却 仮 勘 定	3,236	3,030		そ の 他 の 流 動 負 債	2	19	
燃 料 核 心	2,419	2,343		引 当 金	1,203	1,430	
装 荷 核 燃 料	353	391		渴 水 準 備 引 当 金	13	—	
加 工 中 等 核 燃 料	2,066	1,952		負 債 合 計	29,527	30,394	
投 資 其 他 の 資 産	3,718	4,072		少 数 株 主 持 分	—	101	
長 期 投 資	1,689	1,816		資 本 金	—	2,373	
使 用 済 燃 料 再 処 理 等 積 立 金	385	601		資 本 利 益	—	310	
繰 延 税 金 資 産	1,009	1,033		株 式 等 評 価 差 額 金	—	7,200	
そ の 他 の 投 資 等	651	639		為 替 換 算 調 整 勘 定	—	658	
賞 倒 引 当 金 (貸方)	△ 17	△ 18		自 己 株 式	—	△ 3	
流 動 資 産	2,732	2,423		資 本 合 計	—	△ 11	
現 金 及 び 預 金	483	516		株 主 資 本	10,387	—	
受 取 手 形 及 び 売 掛 金	1,163	949		資 本 利 益	2,373	—	
た な 卸 資 産	614	487		資 本 利 益 剰 余 金	310	—	
繰 延 税 金 資 産	196	214		自 己 株 式	7,716	—	
そ の 他 の 流 動 資 産	288	270		評 価 ・ 換 算 差 額 等	△ 13	—	
賞 倒 引 当 金 (貸方)	△ 13	△ 14		そ の 他 の 有 価 証 券 評 価 差 額 金	608	—	
繰 延 税 金 資 産	—	1		繰 延 へ ッ ジ 損 益	575	—	
社 債 発 行 差 金	—	1		為 替 換 算 調 整 勘 定	36	—	
				少 数 株 主 持 分	△ 3	—	
				純 資 産 合 計	104	—	
合 計	40,628	41,023		合 計	11,100	—	
				合 計	40,628	41,023	

(注) 有形固定資産の減価償却累計額 56,851億円

■中間連結損益計算書

(単位:億円)

費用の部		前年中間期		収益の部		前年中間期	
科目	当中間期 (平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)	前年中間期 (平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで)		科目	当中間期 (平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)	前年中間期 (平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで)	
営業費用	5,859	5,949		営業収益	7,132	6,897	
電気事業営業費用	5,412	5,562		電気事業営業収益	6,661	6,508	
その他事業営業費用	447	386		その他事業営業収益	471	388	
営業利益	(1,272)	(947)		営業外収益	41	33	
営業外費用	225	240		受取配当金	15	14	
支払利息	187	197		受取利息	4	—	
持分法による投資損失	—	—		固定資産売却益	4	—	
その他の営業外費用	37	43		持分法による投資利益	—	4	
				その他の営業外収益	16	13	
中間経常費用合計	6,085	6,190		中間経常収益合計	7,173	6,931	
中間経常利益	1,088	740					
渴水準備金引当又は取崩し	13	△ 42					
渴水準備金引当	13	—					
渴水準備引当金取崩し(貸方)	—	△ 42					
特別損失	—	105					
関係会社事業整理損	—	105					
税金等調整前中間純利益	1,074	677					
法人税等	403	250					
法人税等	335	265					
法人税等調整額	67	△ 15					
少数株主利益	3	1					
中間純利益	667	425					

(注) 1株当たりの中間純利益 141円10銭

■中間連結株主資本等変動計算書 (平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

(単位:億円)

	株 主 資 本					評 価 ・ 換 算 差 額 等				少数株主 持 分	純 資 産 計 合
	資本金	資 本 剰余金	利 益 剰余金	自己株式	株主資本 合 計	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	繰延ヘッジ 損 益	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
前連結会計年度末残高	2,373	310	7,200	△ 11	9,872	658	—	△ 3	655	101	10,629
当中間連結会計期間変動額											
剰余金の配当			△ 142		△ 142						△ 142
役員賞与			△ 3		△ 3						△ 3
中間純利益			667		667						667
自己株式の取得				△ 1	△ 1						△ 1
持分法適用会社増加に伴う減少 株主資本以外の項目の当中間 連結会計期間変動額(純額)			△ 6		△ 6	△ 82	36	—	△ 46	3	△ 43
当中間連結会計期間変動額合計	—	—	516	△ 1	514	△ 82	36	—	△ 46	3	471
当中間連結会計期間末残高	2,373	310	7,716	△ 13	10,387	575	36	△ 3	608	104	11,100

■中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:億円)

科 目	当中間期	前年中間期
	<small>(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)</small>	<small>(平成17年4月1日から平成17年9月30日まで)</small>
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,721	1,375
税金等調整前中間純利益	1,074	677
減価償却費	1,102	1,172
法人税等の支払額	△ 212	△ 356
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,108	△ 1,027
固定資産の取得による支出	△ 1,089	△ 1,041
投融資の回収による収入	5	5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 647	△ 349
社債の発行による収入	498	393
社債の償還による支出	△ 300	△ 297
長期借入れによる収入	240	311
長期借入金の返済による支出	△ 853	△ 721
短期借入金の純増減額	△ 179	△ 259
コマーシャル・ペーパーの純増減額	90	390
配当金の支払額	△ 142	△ 165
現金及び現金同等物の増減額	△ 34	△ 1
現金及び現金同等物の期首残高	516	428
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	1	16
現金及び現金同等物の中間期末残高	483	442

■連結決算対象会社

(平成18年9月30日現在)

連 結 子 会 社 29 社
九州通信ネットワーク(株) (株)キューデン・インターナショナル 大分エル・エヌ・ジー(株) 北九州エル・エヌ・ジー(株) 西日本環境エネルギー(株) (株)キャピタル・キューデン (株)電気ビル (株)福岡エネルギーサービス ニシム電子工業(株) (株)キューキ 西日本プラント工業(株) 九電産業(株) 九電ビジネスソリューションズ(株) 西日本技術開発(株) 森林都市(株) 九州計装エンジニアリング(株) ほか13社
持 分 法 適 用 会 社 25 社
戸畑共同火力(株) (株)九電工 大分共同火力(株) (株)キューヘン 九州高圧コンクリート工業(株) 誠新産業(株) (株)九建 西技工業(株) エレクトロシダ・アギラ・テ・トックスバン社 ほか16社

■中間損益計算書

(単位:億円)

費用の部		当中間期 (平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)	前年中間期 (平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで)	収益の部		当中間期 (平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで)	前年中間期 (平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで)
科目				科目			
営業費用		5,543	5,656	営業収益		6,768	6,580
電気事業営業費用		5,439	5,579	電気事業営業収益		6,673	6,520
水力発電電費		147	134	電灯料		2,768	2,719
汽力発電電費		1,331	1,255	電力料		3,788	3,711
原子力発電電費		832	904	地帯間販売電力料		10	—
内地帯間発電電力料		124	109	他社販売電力料		33	15
地帯間購入電力料		—	—	託送収		7	5
他社購入電力料		557	572	事業者間精算収益		14	17
送電電費		371	385	電気事業雑収益		47	48
変電電費		218	232	貸付設備収益		2	2
配電電費		724	743				
販売設備費		291	308				
休止設備費		4	5				
貸付設備費		—	—				
一般管理費		581	679				
電源開発促進税		174	167				
事業税		81	79				
電力費振替勘定(貸方)	△	2	—				
附帯事業営業費用		103	77	附帯事業営業収益		95	59
空調事業営業費用		14	15	空調事業営業収益		14	13
光ファイバ心線貸し事業営業費用		38	29	光ファイバ心線貸し事業営業収益		28	14
ガス供給事業営業費用		48	29	ガス供給事業営業収益		49	28
その他附帯事業営業費用		2	2	その他附帯事業営業収益		3	3
営業利益		(1,225)	(923)				
営業外費用		210	219	営業外収益		35	22
財務費用		176	185	財務収益		17	13
支払利息		174	183	受取配当金		13	12
社債発行費償却		—	1	受取利息		4	1
社債発行費等		1	—	事業外収益		17	9
事業外費用		34	34	固定資産売却益		4	1
固定資産売却損失		—	—	為替差益		1	—
雑損		33	33	雑収		11	7
中間経常費用合計		5,753	5,876	中間経常収益合計		6,804	6,602
中間経常利益		1,050	726				
濁水準備金引当又は取崩し		13	△ 42				
濁水準備金引当		13	—				
濁水準備引当金取崩し(貸方)		—	△ 42				
特別損		—	112				
関係会社支援損		—	112				
税引前中間純利益		1,036	656				
法人税等		387	239				
法人税等		322	250				
法人税等調整額		65	△ 10				
中間純利益		648	416				

(注) 1株当たりの中間純利益 137円00銭

■中間株主資本等変動計算書 (平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)

(単位:億円)

	株 主 資 本								評価・換算差額等			純資産 合 計	
	資本金	資本剰余金		利 益 剰 余 金				自己株式	株主資本 合 計	その 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	繰 延 ヘ ッ ジ 損 益		評価・換算 差 額 等 合 計
		資 本 準 備 金	利 益 準 備 金	その他利益剰余金			利 益 剰 余 金 合 計						
				原 価 変 動 調 整 積 立 金	別 途 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金							
前事業年度末残高	2,373	310	593	1,003	3,790	1,251	6,638	△ 9	9,313	643	—	643	9,956
当中間期変動額													
別途積立金の積立					400	△ 400	—		—				—
剰余金の配当						△ 142	△ 142		△ 142				△ 142
役員賞与						△ 1	△ 1		△ 1				△ 1
中間純利益						648	648		648				648
自己株式の取得								△ 1	△ 1				△ 1
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)										△ 81	37	△ 44	△ 44
当中間期変動額合計	—	—	—	—	400	105	505	△ 1	504	△ 81	37	△ 44	460
当中間期末残高	2,373	310	593	1,003	4,190	1,357	7,143	△ 10	9,817	562	37	599	10,416



九電グループはCSRの一環として
環境経営を推進しています

きっとある 地球のためにできること

今日、企業の社会的責任は一段と重要性を増しており、環境経営などへの積極的な取り組みは、企業の持続的な価値創造や競争力の向上につながります。

当社が、今後も社会から信頼され、お客さまに選択していただける企業となるためには、九電グループ一体となった環境経営の推進により、環境に優しい企業としてのブランドを構築し、グループ全体の企業競争力の強化につなげていくことが重要と考えております。

このような状況を踏まえ、平成18年度の環境月間(6月1日～30日)では、環境保全活動の重要性等を再認識する期間と位置づけ、統一テーマ「きっとある 地球のためにできること」のもと、一層の省エネルギーを推進するとともに、地域の皆さまと一緒にやる緑化活動、清掃奉仕活動や環境意識啓発に向けたイベント・講演会などを実施しました。



平成18年度環境月間PRポスター

今年度環境月

省エネルギーの一層の推進

地球温暖化防止「国民運動(チーム・マイナス6%)」の一環として、6月～9月の間冷房中の室温を28℃に調整し、また夏季軽装の励行〔ノーネクタイ、ノー上着〕を実施しました。



緑化活動

当社の総合研究所生物資源研究センター前原分場では、苗木・緑化樹を育成しております。それらを活用して、環境月間期間中に開催されるオール電化キャンペーン展示会等での配布、自治体等への寄贈や、「九州ふるさとの森づくり」の一環となる植樹を行いました(苗木・緑化樹合計25,517本)。

平戸営業所では、平戸市内のつつじふれあい公園で、地域の皆さまと一緒にヒラドツツジ500本の植樹を行いました。



※「平成13年度から10年間で、地域の皆さまと一緒にやって100万本の植樹を行う」という取り組み。

間の主な行事

地域との交流活動

稚魚放流,発電所構内の農園開放,スポーツ大会などの,地域との交流活動を実施しました。

人吉電力所では,五木村の五木北小学校周辺で,同校の皆さまと一緒にヤマメ8,000匹の稚魚放流を行いました。



環境講演会などの開催

お客さまを対象にした講演会,研修会,施設見学会を実施しました。福岡では,6月4日,俳優で気象予報士の石原良純さんをお招きし,「空から学ぶ地球環境問題～気象予報士石原良純の環境学～」をテーマとする講演会を開催し,600名の皆さまにご参加いただきました。



九州電力環境顧問会開催

当社は,環境経営を推進するにあたり,各方面で活躍されている社外有識者の方々との環境コミュニケーションを図ることにより,九電グループ体となった環境経営を一層推進していくことを目的として平成13年に「九州電力環境顧問会」を設置しています。今年,5月16日に環境顧問会を開催し,様々なご意見をいただきました。

【環境顧問会での主なご意見】

- 電気の品質については,これまでの周波数安定に加え,CO₂排出原単位も重要な要素の1つであるため,電力会社,消費者ともに,電気の品質に対する考え方を変えていく努力が必要。
- 環境教育の深化につなげるためにも,「山下池ダム」や「女子畑いこいの森」など九州電力の施設を利用した環境教育支援体制の更なる充実に努めていただきたい。

など



今回いただいたご意見を今後の活動に反映し,更なる環境活動の充実と環境負荷の低減を目指してまいります。

当社のホームページについて お知らせします

当社のホームページは、情報公開や当社及び九州地域のPRを目的として、平成9年に開設しました。

現在では、経営情報をはじめ原子力や環境への取り組みなど、4,000ページを超える情報を掲載するとともに、各地域で開催するイベントなども掲載しています。ぜひ、ご利用ください。

コンテンツの充実

● CSRへの取り組み

平成17年11月、従来の環境経営や社会貢献活動に関するコンテンツに、コンプライアンス経営などを加える形で取りまとめ、CSRへの取り組みに関するコーナーを新設しました。また、今年6月には、より多くのステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを通して、当社のCSRへの取り組みを更に充実させていくため「CSR報告書」を掲載しました。

● 企業立地のご案内

平成18年4月、九州への企業誘致を促進するため「九州への企業立地のご案内」を開設しました。自治体等と連携し九州の企業立地情報のポータルサイトとして、九州全体の魅力や企業立地に関する最新情報を発信するとともに、電力会社としてお役に立てるメニューなど、様々な情報も提供しています。



九州電力ホームページのアドレス
<http://www.kyuden.co.jp/>

携帯電話版ホームページの開設

平成18年8月、情報発信の充実とお客さまの利便性向上を図るため、これまでのパソコン向けホームページに加え、携帯電話版ホームページを開設しました。

このホームページでは、大規模な非常災害の際、万一停電したり営業所の電話がつながりにくくなった場合でも、「緊急情報」から停電情報等が入手できます。

また、各支店やPR施設で実施するイベントの情報や営業所の電話番号を検索していただくことができます。

ぜひ、携帯電話の「お気に入り」にご登録のうえご利用ください。

携帯電話版ホームページのアドレス <http://kyuden.jp/>



※カメラ付携帯電話で右の二次元コードを撮影し、携帯電話にURLを読み取ることができます。

■ コンテンツ

項目	内容
緊急情報	台風などの大規模な災害発生時に停電情報等をお知らせします。
イベント情報	当社主催のコンサートやPR施設でのイベントなど、各地域で行われる催しをご紹介します。
営業所電話番号	当社の全営業所の電話番号を掲載します。各営業所にはワンタッチでお電話いただけます。
電気のお役立ち情報	電気を安全にお使いいただくための情報や省エネルギーに関する情報などをご紹介します。

■ 「緊急情報」の画面例

緊急情報

台風○○号による停電状況のお知らせ

■台風○○号による停電状況

HO/○○発表

この度の台風○○号のため、○○月○○日現在、全社で○○千戸が停電し、大変ご迷惑をかけております。

北九州支店:○○千戸
福岡支店:○○千戸
佐賀支店:○○千戸
長崎支店:○○千戸
大分支店:○○千戸
熊本支店:○○千戸
宮崎支店:○○千戸
鹿児島支店:○○千戸
全社計:○○千戸

●福岡支店画面

停電などの状況により、九州電力への電話がかりにくい場合があります。

■検索ページ

■福岡支店画面

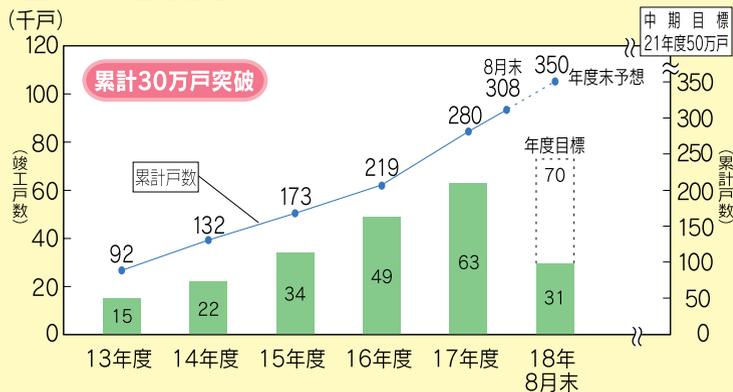
福岡東営業所
TEL:0120-986-204
停電情報(平成○○年○○月○○日:○○現在)
福岡東営業所
■停電戸数(千戸)
○○○
■総戸数(千戸)
○○○
■停電率(%)
○○.○
■停電地区名
○○市、○○町、○○町、○○町の一部
■おしらせ
{担当区域}
福岡市東区・博多区(一部)、
粕屋郡、宮若市(一部)
緊急情報トップへ
上のページへ



さあ、オール電化の暮らしへ。

「オール電化」って、思ってるよりずっとカンタン。
 キッチンと給湯を電気にするだけなんです。
 火を使わない安心感や便利さ、快適さはもちろん、
 光熱費がグーンと安くなるオール電化。
 ステキな暮らしの予感がいっぱい!!

■オール電化住宅竣工戸数及び累計戸数の推移グラフ



九州におけるオール電化住宅が累計30万戸を突破しました!
 「安心・快適・経済的・環境性」というオール電化住宅の特長がお客さまに広く認知され、定着してきたことによるものです。



「キレイ・ライフ」ホームページへアクセス!

「キレイ・ライフ」ホームページでは、簡単な会員登録(無料)をしていただきますと、オトクな会員限定サービスをご利用いただけます。

【サービス内容】

- ①ご自宅をオール電化にされた場合の電気料金(光熱費)シミュレーション
- ②毎月の電気料金、ご使用量がインターネットでいつでも照会可能
- ③オトクな情報を掲載したメールマガジンの送付 など

アドレスはこちら ▶ www.kireilife.net

キレイライフ

心の旅

in 九州

佐賀県
伊万里市

歴史が織り込まれた「食器」と「食」との味わい深いハーモニー

かつてヨーロッパの王侯貴族たちに、金と同じ価値があるとまで言わしめた日本の陶磁器。その積出し港だった「伊万里」は、そのまま日本の焼き物の総称でもあった。

鍋島藩の「御用窯」として数々の陶磁器が幕府や大名に献上され、その洗練された品格のある美しさは、今も陶工たちに受け継がれている。

そしてその器に盛られる料理も、伊万里産の素材を使った“新しい味”が次々に考案されている。



伊万里の町を歩くと、あちこちで見事な伊万里焼の大壺や唐子人形と出会える

今から400年近く前、ヨーロッパで通用する一つの日本語があった。「IMARI」。言うまでもなく、当時日本から大量に海を渡っていた「伊万里焼」のことである。17世紀から18世紀にかけて、数百万個が輸出されたといわれている。

お問い合わせ：伊万里市役所（商工観光課）

TEL 0955-23-2110（直） <http://www.city.imari.saga.jp/>

ただし、「伊万里焼」といってもその窯場は、ほとんどが現在の伊万里市の隣にある有田であった。江戸時代、寛永5（1628）年ごろ、鍋島藩の「御用窯」が設けられた有田では、西洋向けに^{けんらん}絢爛豪華に焼成された壺や食器が、伊万里の港へ運ばれて、そこから出島を経てはるばるヨーロッパへと船出したのである。

当時の港の繁栄を今も残すのが、伊万里市の中心部、伊万里川に架かる相生橋付近。国内外へ陶磁器を積み出した問屋や商家の名残を残す、白壁の蔵造りの家並みが軒を連ねる。



江戸時代、陶磁器をこのように縄で梱包して船積みしたのだろう。（「陶器商家資料館」）



「海のシルクロード館」にある伊万里焼を運んだ千石船の模型



江戸時代の伊万里の隆盛がしのばれる「海のシルクロード館」

「伊万里千軒」ともいわれ、その繁栄ぶりは江戸や大坂にも伝わっていたらしい。最近では町並み保存も進み、「陶器商家資料館」や「海のシルクロード館」が観光客にも開放されている。

その後、延宝3（1675）年、輸出や国内消費向けの生産は



有田に任せて、御用窯は伊万里の大川内山へ移される。燃料となるアカマツが豊富だったことや、山に囲まれていて技術や秘法を守

りやすかったためだといわれる。優秀な陶工たち20名ほどがここに移され、山から自由に出ることは許されず藩窯の陶磁器を焼成し続けた。

以来約200年、明治の廃藩置県まで、この大川内山の伊万里焼は一般には流出せず、もっぱら將軍家や諸大名、朝廷などに献上されてきた。だからこそ、その品質は名実共に最上であり、洗練された品格が追求され、わざわざ招いた狩野派の絵師による絵柄は、精緻な筆遣いによる日本画のようであった。それらは今でも、「色鍋島」や「鍋島青磁」として陶磁器の世界で一目置かれる作風だ。

明治維新で藩窯が役目を終え、いったんは陶工たちの去った大川内山も、昭和初期ごろから再び窯が造られて、今ではその数も30軒ほどになった。どの窯も、かつての高度な技術や品格を伝承しながら、そこに新しいスタイルを加えて現代の伊万里焼を生み出している。

「畑萬陶苑」の畑石さんもその一人だ。

「藩窯のころに先人たちが考案した松竹梅や宝尽くし、青海波、桃やザクロなどの文様、そして藍・赤・緑・黄色の4色を生かしながら、例えばコーヒーカップや、洋食・中華にも合うデザインの皿やボウルなども手掛けています。現代の暮らしに合った収納のしやすさも求められますね」



藩窯時代の深皿の復元（左）。高台の「櫛目文様」や、おめでたい組み紐の絵柄が特徴。それを現代風に生かしたティーカップ（右）も人気が高い



工房では、繊細な絵付けが行われていた。神経を研ぎ澄ました熟練の技だ

伝統の根と幹に新しい意匠が花開く

藩窯時代の伊万里焼は、大きな花瓶や壺、大皿などが中心だったが、今では7割近くが食器だ。毎年4月の「春の窯元市」や秋の「鍋島藩窯秋まつり」には、全国から焼き物ファンが訪れる。

最上の器があれば、それに盛り付ける「料理」も欲しくなる。実は伊万里では、数年前から「伊万里・食三昧」をキーワードに、地元の食材を生かした新しい料理開発が盛んに行われている。

玄界灘に面し、入り江や島が複雑な海岸線をなす伊万里は、魚介の水揚げが豊富で、静かな海を利用した車エビの養殖も盛んである。また、キュウリや梨、イチゴ、アスパラガスなどの特産に加えて、「伊万里牛」も全国的なブランドだ。

これらの生産者グループが中心となって、平成15年に発足したのが「伊万里の食を豊かに」実行委員会。市も全面的に協力して、地元食材を使った料理コンテストやランチバイキング、保育園での郷土料理給食など、さまざまな取り組みを続けてきた。

その中から生まれたのが、新しい郷土料理である。「伊万里牛ハンバーグ」に「伊万里梨のお菓子」「きゅうりアイス」と、



伊万里牛の濃厚な味がギュッと詰まった「ハンバーグ」。上中央は郷土の素材を生かした「きゅうりアイス」

おいしそうな物ばかり。特にハンバーグは、ステーキだと値の張る伊万里牛を手ごろな値段で味わえると評判の逸品。現在、市内の19店のレストランやホテルのメ

ニューに入っている。牛肉100%でつなぎも使わず、ジューシーで肉のうまみたっぷりの味わいは、観光客にも人気を呼んでいる。



伊万里特産の梨が、様々なお菓子に使われている

梨のお菓子も、市内の菓子店が腕を競い合い、パイ風あり、梅との組み合わせあり、スポンジケーキ風ありと、こちらも新たな挑戦が楽しい。

伊万里の中心部に「黒澤明記念館サテライトスタジオ」がある。日本を代表する映画監督である故黒澤明氏は、伊万里の風景をとて気に入り、その縁でこの地に記念館の建設が計画された。館内には、愛用の品々や映画の衣装、絵コンテやシナリオなど、数々の貴重な資料が展示されている。

これからの季節、窯場のある大川内山は、急峻な崖に雪が舞い、人々は春の雛人形祭や窯元市の準備に余念がない。若い陶工たちも、一心に絵付けやろくろに精を出す。完成した器にはきつと、伊万里の豊かな自然に育まれた味覚が彩りを添え、それを前にした人の顔をほころばせることだろう。



映画ファンなら見逃せない「黒澤明記念館サテライトスタジオ」。シナリオや自筆原稿、映画で実際に使われた衣装など、見応え十分だ

らこんで倶楽部

Vol.21の
テーマ

「いづれ」

【川柳】

ノボドンがこどもに軍靴近づけり

宮崎県 樋脇辰志

教えても「らてんこ」と言う三歳児

長崎県 一ノ瀬享子

子と走る二人三脚伸びぬ腰

香川県 山本泰明

五日制ゲームばかりが強くなり

栃木県 内田芳男

子が先にいきなり挙式すると言う

福岡県 新原芳幸

乳飲み児のにつこり母と眼で話す

愛知県 尾畑古留人

一寸だけ見たい気もする子の裸

福岡県 福島ヤス子

いつまでも子供ではない子の苦情

福岡県 能丸正博

百歳のふえる日本こどもへり

埼玉県 山口藤一

怖いのは大人の目よりこどもの目

山口県 村上静代

此の子とは傘寿の息子母百一歳

香川県 清水正子

【俳句】

水筒の麦茶分け合ふ下校の子

愛知県 太田友子

絵手紙の孫のリングはLサイズ

京都府 上野山志津子

大の字の180の子の昼寝

福岡県 常松六峰

りんご剥く理系・文系わが娘

静岡県 伊賀和子

莎草風と言葉をかわしをり

福岡県 志村美子

雲の峰アンパンマンがあると云ふ

福岡県 石井節子

敗戦をこども心に知りし夏

千葉県 中垣三郎

少年の探し喜ぶ昴星

宮崎県 福島ミチ子

親の影はなれず遊ぶ裸の子

福岡県 原田隆司

【短歌】

旅の朝いそいそ集う子らの顔

はしゃぎも乗せてバスはでゆく

滋賀県 北川恒雄

幸せを疑わずいし幼子と

山口県 浜田道子

けんけんばっば月の照らせる

一切れのメロン添へあり子の夜食

知らざる汗のちちははの愛

愛知県 杉本 博

ひたむきにミシンにむかい服を縫う

君の横顔子供になりぬ

福岡県 榎 崇

選後感

昭和は遠く、平成すでに十八年、歴史は、折角の好題「こども」から一番の句材「子沢山」をフイにしました。少子化とは哀しい史実です。印象に残る句を思い出してみました。

子沢山 一人の美空ひばり欲し

この外にまだ二人居る子沢山

同情をして子沢山ほっとかれ

子沢山間に合うものに置き薬

漢字も面白い名が尽きた子沢山

漢字も面白い名が尽きた子沢山

選者

《川柳・俳句》福岡川柳作家協会

会長 鷹野 青島

《短歌》福岡県歌人会

会長 井上生二

「心の旅in九州」及び「らこんで倶楽部」につきましては、誌面見直しのため、本号をもちまして掲載を終了することといたしました。長らくのご愛顧ありがとうございました。引き続き、株主さまのニーズに沿った情報発信に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

お知らせ

株式メモ

株券の電子化について(お知らせ)

株券の取引等がより安全かつ迅速に行われることを目的として、2004年6月に「株券の電子化」に関する法律が公布されました。これにより、2009年6月までの政令で定める一定の日(2009年1月実施で準備が進められています)に、当社を含む上場会社の株券は電子化され無効となり、株主の権利は電子的に証券会社等の金融機関の口座で管理されることとなります。

なお、株主さまご本人の名義で株主名簿に登録されている場合、配当金のお受取りや、議決権の行使などの株主さまの権利はこれまでと変更ありません。

詳細につきましては、下記当社株主名簿管理人までお問い合わせください。

株式お問い合わせ窓口

中央三井信託銀行株式会社 証券代行部(証券代行事務センター)
電話 0120-78-2031(フリーダイヤル)

●株主さまにおかれましては、次の点にご注意ください

株券を証券会社
〈証券保管振替機構〉に
お預けの場合

特段のお手続きは必要ありません。
株主さまとしての権利は自動的に保全され、これまでと同様に自由な売買が可能です。

ご本人名義の株券を
お持ちの株主さま

株主さまとしての権利に影響はありません。ただし、株券電子化の後は、発行会社が開設する特別口座で管理されますが、ご所有の株式を売買される場合には、別途、証券会社等に開設した口座に振り替えるお手続きが必要になります。

他人名義の株券を
お持ちの株主さま

そのままでは株主さまとしての権利を失う恐れがあります。株券電子化の前に、ご本人への名義書換のお手続きをおとりいただく必要があります。

役員

■取締役及び監査役

代表取締役会長	鎌田 迪 貞	取 締 役	清 田 均
代表取締役社長	松尾 新 吾	取 締 役	片 山 修 造
代表取締役副社長	芦塚 日出美	取 締 役	日 名 子 泰 通
代表取締役副社長	佐藤 光 昭	取 締 役	真 部 利 應
代表取締役副社長	今村 毅	取 締 役	水 口 敬 司
代表取締役副社長	田中 征 夫	常 任 監 査 役	上 田 憲 幸
常務取締役	橋田 紘 一	常 任 監 査 役	惣 福 脇 亨
常務取締役	樋口 隆 啓	監 査 役	三 小 田 元
常務取締役	一ノ瀬 秋 久	監 査 役	中 里 公 哉
常務取締役	小田原 智 一	監 査 役	石 村 善 悟
常務取締役	樋口 勝 彦	監 査 役	小 池 美 千 代
取締役	蔵野 八 郎		
取締役	横江 信 義		

■執行役員

常務執行役員	樋口 隆 啓	執行役員	諸岡 雅 俊
常務執行役員	樋口 勝 彦	執行役員	平野 敏 彦
執行役員	蔵野 八 郎	執行役員	山元 春 義
執行役員	横江 信 義	執行役員	森元 豊 直
執行役員	片山 修 造	執行役員	鎮西 正 直
執行役員	真部 利 應		
執行役員	段上 守		
執行役員	貫 正 義		
執行役員	谷口 碩		
執行役員	池松 勢 三郎		
執行役員	小山 一 民		
執行役員	加藤 正 二		
執行役員	外村 健 二		

(平成18年9月30日現在)

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会・期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 (その他必要あるときはあらかじめ公告します。)
公告掲載新聞	福岡市において発行する西日本新聞
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同取次所	中央三井信託銀行株式会社全国各支店 日本証券代行株式会社本店及び全国各支店 当社本店 上記の外、当社支店、東京支社でも お取り次ぎいたします。

会社概要

設立年月日	昭和26年5月1日
発行可能株式総数	10億株
発行済株式総数	4億7,418万3,951株
資本金の額	2,373億486万3,699円
従業員数	12,799名
主要事業所	
本店	福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号 ☎(092)761-3031
支店	北九州・福岡・佐賀・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島
支社	東京

(平成18年9月30日現在)

●郵便物送付先・電話お問い合わせ先

東京都杉並区和泉二丁目8番4号(〒168-0063)
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部(証券代行事務センター)
☎0120-78-2031(フリーダイヤル)

九州電力株式会社

〒810-8720 福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号 TEL 092-761-3031(代表)

ホームページアドレス <http://www.kyuden.co.jp/>
携帯電話版ホームページアドレス <http://kyuden.jp/>



このパンフレットは自然環境保護のために再生紙を使用しています。また、大豆油インキを使用しております。